

令和6年度 種花事業の取組状況調査結果(区)について

1. 種花事業の取り組み状況について(予算及び今後の方向性)

○種花事業の有無

- ・有 18区
- ・無 6区

*類似事業の実施 東住吉区:クラインガルテン広場事業

*地域での実施 大正区:地域活動協議会への補助金事業として実施

*他の事業に取り組んでいる 淀川区:区役所にて花づくり活動を実施

○方向性 (種花事業実施 18区)

- ・現状維持 18区

2. 種花事業の実施状況

○花苗の栽培株数 令和6年度実績 278,777 株 (令和5年度実績 277,035 株)

	令和6年度	令和5年度
～10,000株	7区	7区
10,001～20,000株	10区	9区
20,001～30,000株	0区	1区
30,001株以上	2区	2区
計	19区	19区
備考	・此花区・大正区・淀川区・東淀川区・旭区以外を集計 ・類似事業である東住吉区クラインガルテン広場を含む	

3. 花づくり広場の設置状況と活動状況(二次拠点含む)

令和6年度	小・中学校以外	小・中学校	備考
設置箇所数 43カ所	33ヶ所	10ヶ所	
一次育成 (種から)	32ヶ所	9ヶ所	
二次育成 (苗から)	1ヶ所	1ヶ所	
1カ所の区	11区		
複数箇所以上の区	8区		

出荷回数	令和6年度	令和5年度
1回	0区	0区
2回	14区	14区
3回以上	5区	5区
計	19区	19区

○花苗の植付場所 令和7年度予定 860ヶ所 (令和6年度実績830ヶ所)

(単位:ヶ所)

	都市公園	児童遊園等	道路	小学校	幼稚園 保育所	中学校	社会福祉施設 (※1)	その他 公共施設 (※2)
令和6年度 (実績)	153	51	46	111	175	49	147	98
令和7年度 (予定)	158	55	46	116	177	51	152	105

※1 老人福祉センター、老人憩いの家等

※2 区役所、消防署、警察署、病院、下水処理場等

4. ボランティアの人数及び育成の取組

○ボランティアの延べ人数:1,933人(令和5年度調査:1,875人)

	令和6年度	令和5年度
0 ~ 50人	6区	6区
51 ~100人	8区	9区
101人以上	5区	4区
計	19区	19区
備考	・此花区・大正区・淀川区・東淀川区・旭区以外を集計 ・類似事業である東住吉区クラインガルテン広場を含む	

○ボランティアの新規加入者人数:88人(令和5年度調査:97人)

	令和6年度	令和5年度
0人	6区	4区
1 ~5人未満	4区	4区
5~10人未満	5区	9区
10人以上	4区	2区
計	19区	19区
備考	・此花区・大正区・淀川区・東淀川区・旭区以外を集計 ・類似事業である東住吉区クラインガルテン広場を含む	

○新規ボランティアの募集方法・研修、ボランティア会議、講習会、花づくり広場でのイベントについて

(1) 新規ボランティアの募集方法について

- ・区の広報誌、Web(ホームページ等)、SNSでの取り組み紹介(北区)
- ・連長会でのチラシの配布(中央区)

- ・講習会開催・種花通信発行(西区)
- ・区民まつり(港区)
- ・ボランティア育成講習(生野区)
- ・種花リーダー育成講習会(城東区)
- ・寄せ植え講習会開催(鶴見区)

(2)新規ボランティアへの研修について

- ・福島区緑化リーダー緑化活動紹介・緑化リーダー育成講座(福島区)
- ・園芸に関する基礎知識、肥料について、植物の病気と対策、寄せ植え(中央区)
- ・花の育て方の基礎学習(港区)
- ・季節の花苗の維持管理等(生野区)
- ・緑花リーダー育成講習会に参加(城東区)
- ・季節の寄せ植え講習会(住之江区)
- ・園芸の基礎(住吉区)
- ・区役所および広場での事業説明・現地紹介、作業時に適宜指導(東住吉区)

(3)ボランティア会議について

- ・毎月の連絡調整及び年1回の次年度出荷・育苗計画に係る打合せ等(北区)
- ・福島区緑化リーダー連絡協議会代表者会議、緑化リーダー全体会(福島区)
- ・グリーンコーディネーター・緑化リーダー・緑化サポーター連絡会を実施(中央区)
- ・活動内容や幼稚園での種花事業等の調整、確認、振り返り等(西区)
- ・定例会月1回(港区)
- ・ボランティア団体(GC含む)、公園事務所、区役所三者間の連絡、伝達事項、課題、現状報告、情報共有等(天王寺区)
- ・花苗の生育状況の確認、作業スケジュールの調整等(生野区)
- ・事業に関する打合せ(城東区)
- ・育てる花の種類を検討、作業日程調整、作業当番の周知、イベント周知など(鶴見区)
- ・種まきについて(阿倍野区)
- ・種花会議6回:春・秋の栽培計画の協議、進捗状況の報告、人材育成研修等(住之江区)
- ・GC会議10回:レベルアップ講習会、ひふみ号講習会、新任募集研修会(住之江区)
- ・花苗の配布についてや、3月開催のふれあいフェスタ開催に向けての打ち合わせ(住吉区)
- ・事業計画・協議事項等の立案、実施報告、共有事項の周知確認(東住吉区)
- ・種まきの種類及び栽培株数の決定、花苗の出荷日時の決定等(平野区)
- ・花づくり広場の生育状況・出荷スケジュールの共有、各花壇の育成状況の情報交換など(西成区)

(4)講習会について

- ・草刈り機の安全講習会(福島区)
- ・緑花の基礎知識の講習会を開催し、新規ボランティアの増につなげる(西区)

- ・「花づくりの基礎」について(天王寺区)
- ・緑化ボランティア育成講習会(生野区)
- ・緑花リーダー育成講習会(城東区)
- ・ハンキングバスケット作成(住之江区)
- ・長居公園事務所による園芸の基礎知識についての勉強会(住吉区)
- ・花と緑の講習会(ひふみ号)の講師として起用(平野区)
- ・季節の植物の寄せ植えや植物の楽しみ方をテーマとした講習会(西成区)
- ・西成区の緑化活動の紹介や土・肥料・水やりの基本をレクチャーする「フラワーサポート講習会」(西成区)
- ・フラワーサポート講習会よりもう少し発展的な講習をする「続★フラワーサポート講習会」(西成区)

(5)花づくり広場等で行うイベントについて

- ・「北区種花の会」の活動紹介等を行う花づくり広場見学会を実施(北区)
- ・広場開放デー、園芸教室、ボランティア寄せ植え(都島区)
- ・花苗プレゼント(福島区)
- ・西区民まつりにおいて、西区緑花会の広報活動、会員募集等を行っている。(西区)
- ・花づくり広場の開放<活動の見学>(生野区)
- ・学校花壇植付けを、児童とボランティアさんが一緒に行う世代間交流を実施(住之江区)
- ・木の実や枝などを使ったクラフト作り体験等(住吉区)
- ・一般公開フェス(春・秋2回)、コケ玉づくり講習会、寄せ植え講習会、やさいづくり体験塾(春・秋2回)収穫体験など(東住吉区)
- ・区民まつりでの芝坊主づくり、緑のカーテンの普及を目的としたアサガオの苗の配布(西成区)

○種花活動での取り組みについて

(1)ボランティアの負担軽減に関する取り組み

- ・休憩所等へのエアコンの設置 ・自動灌水装置の設置・土に市販の培養土を利用する(北区)
- ・花苗の数量や活動回数の見直し(中央区)
- ・花友リーダーのスローガン(あわてず、あせらず、ゆっくり、楽しく)を実行している。(港区)
- ・暑い時期は午前中に作業を行うようにし、こまめな休憩、水分補給をしている。(天王寺区)
- ・水やり当番や作業等、一人の負担を軽減できるように、緑花ボランティア育成講習会受講生については、ボランティア団体の取組みに興味をもつような講習内容を考案し、加入促進を図る取組みをおこなっている。(天王寺区)
- ・鶴見花づくり広場において、ポット移植した花苗の水やりを自動灌水装置を活用し作業時間を短縮できた。(鶴見区)
- ・今津花づくり広場において、底面給水での水やりをオアシストレイに変更し、作業を軽度化することができた。(鶴見区)
- ・熱中症防止として、1)暑さ指数計の設置と作業中止基準の設定 2)簡易ミストシャワー設置(東住吉区)

- ・作業場所近くへのミストクーラーの設置(西成区)

(2) ボランティア活動の周知

- ・区広報、ホームページ、インスタグラム、フェイスブック、エックス(旧ツイッター)への掲載(北区)
- ・活動内容を紹介する「種花通信」を年1回発行し、区内の各施設に配布(西区)
- ・出荷時に事業周知の看板を渡し、花苗を植える花壇等に掲示してもらっている。(西区)
- ・港区民まつりで防犯・種花事業のブースを設け啓発活動を実施している(港区)
- ・学校園との連携成果としてホームページに掲載(浪速区)
- ・園芸講習会実施時に緑化ボランティアが講師の補助を行い活動報告と新規募集を周知(西淀川区)
- ・スタッフ間でのグループライン(任意加入)による活動等の連絡、周知(東住吉区)
- ・月に1回クラインガルテン広場の市民開放日を設けている(東住吉区)
- ・西成区生涯学習情報誌「まなびや」への掲載(西成区)

(3) 実施に係る課題

- ・ボランティアの高齢化、固定化、新たな人材の確保が難しい(北区、都島区、福島区、中央区、西区、港区、天王寺区、浪速区、西淀川区、東成区、生野区、城東区、鶴見区、阿倍野区、住之江区、住吉区、平野区、西成区)
- ・若年層や男性ボランティアの担い手不足(北区、都島区、福島区、中央区、西区、港区、天王寺区、浪速区、西淀川区、東成区、生野区、城東区、鶴見区、阿倍野区、住之江区、住吉区、平野区、西成区)
- ・栽培知識、技術のレベルアップ(中央区、生野区、住之江区)
- ・花苗の保管場所(中央区、天王寺区、住吉区)
- ・花づくり広場へのアクセスが難しい(中央区、西淀川区、生野区、住之江区)
- ・自立した運営方法(都島区、福島区、中央区、浪速区、西淀川区、阿倍野区、住之江区)
- ・グリーンコーディネーターの高齢化(鶴見区)
- ・ボランティア高齢化に伴い、土こね・花壇植付け肥料入や掘り起こし・出荷時の配達が出来なくなってきたおり、担当区職員の負担が大変大きくなってきている(住之江区)

(4) 独自の取り組み(工夫している点など)

- ・平成26年度から、「北区種花の会」と「北区バラの会」と北区役所との協働により、区内の市立小学校を卒業する児童全員に、さくら草の鉢植えをプレゼントする取り組みを実施している。令和5年度は花の種類を「プリムラ マラコイデス」で実施した。令和6年度も実施予定(品種は苗の育成状況により決定する)。(北区)
- ・ボランティアの交流を深めるためにボランティア向けの寄せ植えを年1回開催(都島区)
- ・新規ボランティア基礎応用講習会を実施予定。(春まきに向けて)(都島区)
- ・花友リーダー養成(3回講座)年1回の取組で新規ボランティアの募集と、月1回の定例会や勉強会でボランティアの人たちが、やりがいを感じるように取り組みたいことなど、一人一人が意見を言える

場をつくっている(港区)

- ・「天王寺区緑花ボランティア育成講習会」の開催。(天王寺区)
 - ・2～3年に1度多年草を出荷することで、生育不良時も花壇の緑を絶やさないと、植替え作業の負担軽減を図っている。(浪速区)
 - ・ボランティア向けスキルアップ講習会実施(住之江区)
 - ・小学校、中学校の卒業式 入学式に合わせてボランティア講習会で作成した、(住之江区)
 - ・ハンキングバスケットを学校に設置し地域と小中学校との連携強化をしている(住之江区)
 - ・ボランティア高齢につき、耕うん機や攪拌機の導入を検討(住之江区)
 - ・春と秋の花苗配布の際に、小学校、幼稚園・保育園にて植付け教室を行っている。(住吉区)
 - ・花卉だけでなく、野菜を生育。子供食堂への提供、近隣の園児/家族による芋・大根ほり体験会を実施(東住吉区)
 - ・月に一度、ボランティアの定例会議を行い、活動の進捗状況等の情報を共有する場を設けている。(平野区)
 - ・区役所前に花壇を設置し、花苗の植付作業を行っている。(平野区)
 - ・近隣の幼稚園・保育園の児童と一緒にひまわりの種まき体験を実施している。(平野区)
 - ・未来の緑化リーダーを育成するという趣旨で、ミニ花づくり広場にもなっているまつば小学校の児童(2年生、5年生)を対象としたジュニア緑化リーダー講習会を開催した。(西成区)
- フラワーサポート講習会は、区民向けにGCと公園事務所が講師となり、①西成区の緑化推進事業の紹介、②植物の楽しみ方、③土、肥料、水やりの基本、④植物のふやし方をテーマに講習会を実施しているものである。本講習を受講し、緑化活動や植物に興味を持ってくださった方がボランティアに新規加入いただくことを狙いとしているが、現役ボランティアの中でも経験の浅い方が知識の習得を目的に参加いただくこともあり、新規ボランティア向け研修の役割を一部果たしていると考えられる。(西成区)

(5)ほかの区に確認したい事項(聞きたい)事項

- ・新たな活動の担い手(新規ボランティア)の獲得方法や広報手法(北区)
- ・種花の会 会員に対しての外部講師を活用した講習会の有無(講習を実施した場合は、その講師の手配方法等)(北区)
- ・自立に向けた運営方法(組織作りなど)(都島区)
- ・他区の花づくり広場の見学(都島区)
- ・どのようにして、ボランティア人数を増やしているのか(中央区)
- ・講習会は、年に何回開催しているか(中央区)
- ・資材や種の取扱業者資材や種の取扱業者(西区)
- ・自立した運営方法(浪速区)
- ・4月及び9月に種蒔きを計画しているが、どの品種が育てやすく発芽率がいいのか知りたい。(鶴見区)
- ・種花物品購入時の契約、入札参加してくれる業者を知りたい(住之江区)
- ・ボランティアに自立してもらおう方法(住之江区)

- ・男性や若いボランティアの募集方法(住之江区)
- ・高齢化による作業軽減策(住之江区)
- ・花苗配布先としている施設や提供数の基準について(住吉区)
- ・新規ボランティアの発掘・育成、若年層の取り込み方法・広報(東住吉区)
- ・猛暑による種花生育への影響と対策(東住吉区)
- ・若い世代に継続的に緑化活動に関わってもらえるような取り組みの有無(西成区)

(6)種花事業以外で行っている花と緑に関する独自の取組

- ・園芸教室・広場開放デー(都島区)
- ・八幡屋公園八角花壇の植え付けと管理(港区)
- ・西淀川区内保育施(15箇所)の園児対象に花苗植栽実習・区民対象の園芸セミナー(年3回)
- ・地域の団体や企業と共同で緑陰道路内の花壇を維持管理・区内小中学校の卒業生を対象に花づくり広場で育てた花苗を贈る取り組み(西淀川区)
- ・緑化ボランティアによる区役所庁舎前花壇の整備(東成区)
- ・「寄せ植え講習会」(生野区)
- ・年末にボランティア団体が主体となって100人規模の講習会を行っています。(生野区)
- ・小学校における花菖蒲の栽培(区の花を通じた郷土愛の醸成)(旭区)
- ・フラワーサークル講習会(緑化推進を担う人材の育成、隔年実施、年5回開催)(旭区)
- ・フラワースポット(区役所前花壇)植栽の取組(GCの活動の場を提供、緑化推進を担う人材の育成、年2回実施)(旭区)
- ・他課ではあるが、種を区内の個人に配付し、各家で花を育てる取組を行っている。(鶴見区)
- ・緑のカーテン(住之江区)
- ・育成した花卉を駒川橋梁欄干プランター76基にて本事業で運営(東住吉区)
- ・ボランティア作成の迎春用花飾り(寄せ植え)を区役所玄関に年末年始展示(東住吉区)
- ・残渣・落ち葉等を堆肥化し植物の育成(東住吉区)
- ・ボランティア講師による市民やさいづくり体験塾(春夏コース全15回・秋冬コース全11回)を開講(東住吉区)
- ・なにわ筋・津守阿倍野線アドプト花壇維持管理、西成区コミュニティ広場維持管理、ヒートアイランド対策を統合し、緑化推進事業としての区内の緑化・美化・イメージアップ推進事業として展開している。(西成区)

(7)種花事業をおこなっていない区で、花と緑に関する独自の取組みも実施していない場合、緑化普及啓発事業を実施する必要性がないと考える理由(区役所としての方針・考え方等)

- ・回答はありませんでした。